

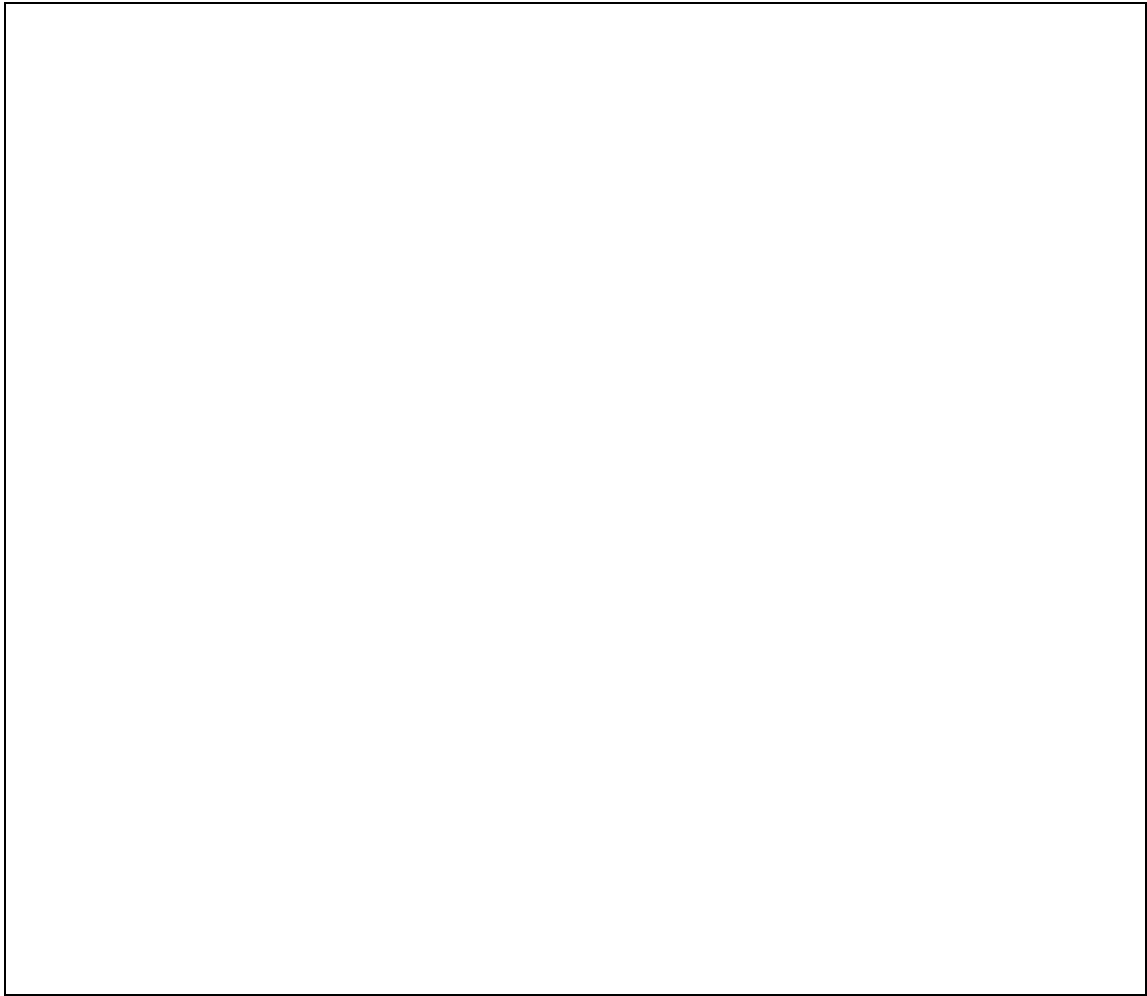
新人看護職員部署課題研修 **多重課題シミュレーション**

企画の意図	<p>多重課題シミュレーションとは臨床の現場で起こる様々な出来事を題材として、その題材を多重課題のシナリオという教材に変える。その教材（シナリオ）を実際に体験させ、研修者に多重課題が起きた時の対応を学習させる模擬体験である。</p> <p>平成 22 年度の部署別研修「多重課題シミュレーション」において、BLS スキルを評価項目とした共通シナリオを作成し各部署の参考として提示した。結果、共通シナリオを使用したのは 2 部署のみであった。一番多かったシナリオ内容は、「輸液ポンプ警報」・「吸引」・「トイレ介助」の 3 項目の多重課題組合せで 7 部署、2 項目は入っているシナリオも含めると 31 部署のうち、16 部署であった。実際の現場では、患者の心停止に遭遇することがほとんどなく、むしろ新人看護職員が日常経験する多重課題を想定したほうが学習効果もあがることから、前年度の評価をもとに平成 23 年度の企画を考案した。今年度は研修者のディブリーフィング（振り返り・正解確認）も企画に含めた。</p> <p>ただし入職半年での実施で、吸引技術の経験も個人差がある状況であるため本研修での到達目標は①②までとし、点滴交換や吸引技術は研修評価に含まないところでの基本シナリオとした。</p>
研修目的	<p>【目的】多重課題、時間切迫の状況下で安全に優先順位を選択し基本的な看護技術が実践できる。</p> <p>【目標】① 安全に配慮した優先順位の選択ができる。</p> <p>② 必要に応じ先輩に報告や連絡をすることができる。</p> <p>③ 基本的な看護技術が正確にできる。</p>
時期	<p>【時期】平成 23 年 9 月（*9 月中に実施が難しい場合は、10 月でも可）</p> <p>平成 23 年度 新人看護職員入職後半年以内を目安とする。</p>
研修場所	<p>自治医科大学メディカルシミュレーションセンター（以下 JMSC と略す）を使用することを推奨する。JMSC を使用する場合は、使用申請・連絡・調整は、各部署が行う。（詳細後述）</p> <p>JMSC は、当委員会が作成したシナリオを使用する場合、準備などで協力が可能で部署の負担が軽減できる。シナリオを変更または独自のシナリオを作成する場合、企画相談の対応が可能。</p>
シナリオ	<p>多重課題シミュレーションは、自分が勤務する部署における実際の場面を頭に描くことで、新人看護職員の学習意欲が高まる。研修を受ける新人看護職員自身が、臨床ではこのような多重課題や時間切迫の状況を確かによく経験すると感じられるようなシナリオであることが重要である。そのため、シナリオは、各部署の特性に即して、当委員会が作成した一般病棟用の基本シナリオを変更したり、これを参考に独自で作成しても構わない。</p>
評価の視点	<p>シナリオ表・気づき表は必ず使用する。当委員会が作成したシナリオを変更または独自にシナリオを作成した場合、当委員会が作成したシナリオ表を参考に作成する。下記項目は含むこと。</p> <p>【シナリオ表】① シナリオ概要（タイムスケジュール・内容）</p> <p>② 評価の視点のチェック項目欄</p> <p>【気づき表】① 研修者が、研修後に多重課題シミュレーションを実施しての感想・行ってみたいの気づき・先輩から受けたアドバイスからの気づきなどを記入する欄</p>
必要人員	<p>・進行担当 ・振り返り担当 ・患者 A 役 ・患者 B 役 ・患者 C 役 ・リーダー看護師役</p> <p>振り返り担当が複数名いて 1 名終了毎に別室で評価指導を行えば時間短縮につながるの望ましい。</p> <p>・患者 D はシミュレーター使用 *シミュレーター操作は、JMSC の方が行ってくれる。</p>

<p>研 修 運 営</p>	<p>【研修数日前】 別添の「新人看護師用事前配布資料」にそって新人看護職員に多重課題シミュレーションの概要・目的・目標・シナリオの初期設定と多重課題シミュレーション実施時間（2分）のみを説明する。</p> <p>新人看護職員には、多重課題シミュレーション実施前には、シナリオの内容や評価の視点のチェック項目に関する情報は与えない。</p> <p>【研修当日】 新人看護職員にシナリオの初期設定の最終確認を行う。ベッド周囲の設備等の口答オリエンテーションを行う。進行担当者役割に詳細あり</p> <p>【研修終了後】 速やかに担当看護師とともに評価・振り返りを行う。</p> <p>評価振り返り方法は、振り返り担当者役割に詳細あり</p>
<p>提 出 書 類</p>	<p>【新人看護職員】 シナリオ表（No.1）と気づき表（No.2）のコピー1部ずつ</p> <p>【部署の報告書】 多重課題シミュレーション報告書のコピー1部</p> <p>【提出先・期日】 看護職キャリア支援センターに10月31日までに提出する。</p> <p>*提出書類については部署の実地指導者が内容確認し、すべてを取りまとめ提出する。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>【電子媒体】 当委員会が作成した一般病棟用のシナリオ資料とシナリオ表のデータを使用したい場合は、看護職キャリア支援センターに連絡する。</p> <p>【JMSCの使用申請方法】 *9月12日～16日までは、JMSCの都合で使用できない。</p> <p>1) 部署で実施希望日時を決定する。JMSCに電話連絡（内3883）し予約状況を確認する。</p> <p>*シミュレーターを使用する場合、JMSCの最終使用時間の目安は、19時とする。</p> <p>*「多重課題シミュレーション」で使用したいこと、使用するシナリオは、当委員会が作成したシナリオか、一部変更したシナリオか、また独自シナリオなのかを伝える。</p> <p>2) 実施日時が決定したら、JMSCとの事前打ち合わせ日時を決定する。</p> <p>*当委員会が作成したシナリオを使用する場合は、事前打ち合わせ日と研修日の間隔が短期間でも対応可能。しかし、一部変更または独自に作成したシナリオを使用する場合は、打ち合わせ日と研修日の間隔は、少し余裕を持たせたほうが良いと考える。</p> <p>*JMSCとの事前打ち合わせ時には必要事項を記入したJMSC施設・器材使用申請書（添付資料あり）と研修当日に使用するシナリオ表を持参する。</p> <p>3) 予約日の前日には、必ず確認の連絡を行う。</p> <p>4) <u>基本シナリオを使用し、JMSCで実施する場合は、研修日当日に、病棟から持参する</u></p> <p><u>ものはない。</u> 点滴・点滴関係類、酸素マスク、サクシオンに必要な備品、PC台、疑似PC、疑似バーコードリーダー、疑似リストバンド、ストップウォッチ、など研修に必要な備品は、すべて看護職キャリア支援センターで準備しJMSCにおく。</p>

多重課題シミュレーション報告書

部署名	〈部署の企画・実施担当者が記入〉
開催日時 間	H23年 月 日 時 分 ～ 時 分
参加人数	新人看護職員 人
	実施・実施協力者（見学者は除く） 人
研修場所	<input type="checkbox"/> J M S C <input type="checkbox"/> その他（ ）
使用した シナリオ	下記の中から該当するものを1つ選んでください <input type="checkbox"/> 参考シナリオをそのまま使用 <input type="checkbox"/> 参考シナリオを一部変更し、使用 <input type="checkbox"/> 独自のシナリオを作成し、使用 <input type="checkbox"/> その他（ ）
当研修を実施しての感想・気づき （全体を通した新人看護職員の傾向と今後の指導課題）	
① 生命の維持（救命）	
② 安全管理	
③ 報告と応援要請	
④ 時間管理	
⑤ 他の患者への配慮	



10月31日までに看護職キャリア支援センターに提出